



mIRaI 通信

～輝く「未来」の中に「伊里」はある～



2学期始業式 始まりました!



2学期の始業式が行われました。始まりました。

式に先立ち、8月に亡くなられた、ふれあい学級員・本校学校評議員の光本さんのお冥福を祈り、黙祷を捧げました。伊里を愛し、誇りをもち、伊里を支えていこうとする人材の育成に励まれた光本さんのご遺志を大切にしていこうと誓いを新たにしました。

校長先生のお言葉・校歌・表彰・各学年代表の意見発表があり、生徒指導担当の森先生からの、通学路を守ることとネットの使い方の注意がありました。



この夏休み、様々な方面での活躍がありました。今回表彰されたのは次の通りです。

- ・テニスチャレンジカップ 優勝＝大取・河崎ペア
- ・B & G中国ブロック大会 水上の部カヌー競技中学生男子の部
第2位＝杉本 慧
- ・吹奏楽部 岡山県吹奏楽コンクール少人数編成の部 銅賞
- ・英語検定合格者
- ・漢字検定合格者



また、2学期より、図書館司書の長船先生、ALTのミッツィ先生は、兼務がなくなり、常時本校勤務となりました。



ムムッ やるなお主たち (笑)



誇らしげに乾かされている軍手たち。心なしか照れているような(苦笑)。

夏休みの最後に、「お主、なかなかやるのう」という出来事があったのでご紹介します。

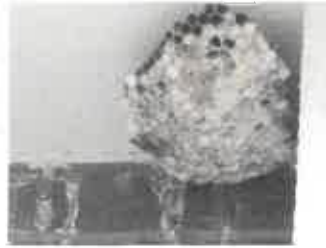
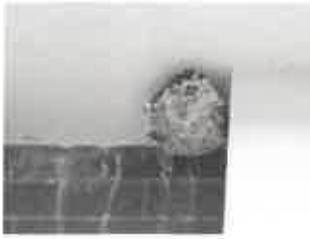
先日紹介した30日に芝生ボランティアに参加してくれた2年女子4名に、軍手を貸していました。

すると、終了後、返しに来たその軍手たちはズブ濡れではありませんか?さすがに汗のはずはない(けっこう涼しかったので)。で、聞いてみると、こちらが何も言わないのに洗って返しに来ていたのでした。

「当たり前」と思われるかもしれませんが、昨今こんな「当たり前」ができにくくなってきています。とっても気持ちの良い出来事だったので、胸を張って(?)紹介します。



ハチの巣をつついたような大騒ぎ

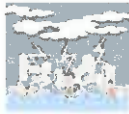


夏の終わりに、職員室前（中庭側）の柱の隅にハチの巣発見!という通報が!

幼少時、タオル越しにハチに刺されたことのある私は戦々恐々、でも何とかしなきゃいけないので、ヘッピリ腰で、マグナムジェットを噴射!ハチには何の罪もないけれど、駆除させてもらいました。

それにしても感心するのは、ハチといいアリといい、その巣作りの見事さです。同時に、その統制の取れた動きにも感服します。まあ虫たちがそれぞれ「強い自我」をもって行動されたら、それはそれで恐ろしいですが（苦笑）。

さて、高い場所に残ったこのハチの巣、どうしましょう…。



自然の変化にももの思う



ゲリラ雷雨に迷走台風、バランスの悪過ぎる降雨、そして異様な暑さ…この夏も十分過ぎるほど自然の猛威を感じると共に、この先に不安も感じさせる現象が多々ありました。

この通信でもずっと「二十四節気」を掲載し、四季折々の美しい日本、七十二もの季節の中で、その時その時の旬のものと暮らしてきた日本を紹介してきました。

その移ろいゆく自然のバランスが崩れてきたようで、本当に恐ろしいものを感じます。自然と共に生きてきた人間にとって、その変化はどのような影響をもたらしていくのでしょうか。

自然現象などの目に見える変化のみでなく、自然との暮らしは我々の考えや精神的なものにまで大きく影響を与えてきていると思います。その「精神的な思い」までが変わっていくのではないか、との大きな不安を感じている昨今です。

二十四節気 処 暑

末候「禾乃登る（こくものみのる）」9月2日～6日頃



田に稲が実り、穂をたらず頃。禾とは、稲や粟などの穀物のことを言います。



リベンジだ! カギかけコンテストリターンズ



今年もやります「自転車カギかけコンテスト」。

昨年度もチャレンジしました。トップクラスの優秀校として県庁において表彰されましたが、目標としていた「カギかけ率100%」には少し及ばなかったのです。

「捲土重来（けんどこちょうらい：受験生諸君、わかるか?）」を期し、ここに再びチャレンジです。

これは県警の取組で、9月から12月までに4ヶ月間行われるコンテストです。月に一度、県警から抜き打ちで、自転車にカギがかけられているかどうかのチェックに来られます。その中でカギかけ率が優秀であれば表彰されるというものです。

昨年度も参加し、伊里中学校は平均99.13%で、参加66校中11位でした。